

情報を集め、自分らしい分析をして、友だちにわかりやすい伝え方を工夫しながら自分らしい発信ができる子どもの育成

～ 新聞やメディアを積極的に活用して～

長野県上田市立北小学校 田 畑 和 秀

## 1. はじめに

「先生に早く会いたいと 小走りで学校に来れる子ども」というちょっとユニークな本校の学校教育目標は、毎日目をキラキラさせて、自分のやりたいことをもって、友だちに会いたい、先生にも早く会いたいという思いをもって学校に向かえるような、そんな子どもであってほしいと願って設けられている。

「先生に・・・」は、学校の中で、それぞれの子どもにとって魅力ある関わりの総称として考えているが、教師も子どもたちのために誠心誠意努力しなくてはならないという願いも込められているのである。

また、「花と緑と笑顔の学校」というキャッチフレーズにもあるように、広い校地、豊かな自然環境や地域の特色を生かして、以前から花や緑を育てたり、リンゴを栽培したりと自然体験的な学習に力を入れてきた。

6年生は、一人一人が自分のプラグトレイに種を蒔き、何百本もの苗を育て、世話を続け、日当たりや肥料の問題をみんなで解決し、間引く必要のあることにも気づいてきた。

「間引きをするか、間引きをしないで命を大切にするか話し合いました。ぼくは間引きをした苗も他の場所に植えました。今は間引いて良かったと思っています。」

自分が蒔いて育ててきた一つ一つの花たちを大切にしたいという思いをもち、体験を通して生命の不思議さや大切さを、実感してきている子どもたちである。

このように、自然の事象に対しては、ごく自然に主体的に取り組むことができるようになってきている子どもたちである。さらに、Wくんは肥料について様々な方法で調べた。そして、「有機肥料と化成肥料の使い方で話し合いになりました。微生物のことや肥料の効果の長さの問題がでました。ぼくは両方混ぜることにしましたが、どんな肥料がいいか、自分たちで調べて、こんなに詳しく、みんなで話し合って取り組めるなんてびっくりしました。」と新聞やインターネットで調べて導いた結論に成就感を感じていた。

体験と情報とを有効に統合してさらに活動を進化発展できるようになってきた子どもたちである。

私たちがさらに願っているのは、自分の体験したことや情報を、自分の中に統合していくだけでなく、友だちや、先生、さらに地域に向けて発信していける子どもになってほしいということである。

そういった意味で、身近で、常に手に入れることができ、幅の広い情報源としての新聞の活用を通して、発信する力を育てていきたいと考えている。

## 2. 新聞活用の環境設定

### (1) N I Eコーナーの設置

高学年昇降口にコーナーを設け、登校してきてすぐに新聞を目にできるようにした。毎日、4年生の子どもたちが新聞を運び、手製の新聞ストッカーにファイルした。基本的にはそこで読み、必要があれば教室に持っていくこととした。切り抜きたい記事があったら赤線で囲い、氏名を明記しておき昼までに切り抜いてよいことにした。

### (2) バックナンバーの保管

日曜日から土曜日の1週間は、N I Eコーナーに順次ファイルされていく。1週間すぎたものは、第2理科室のN I Eコーナーに移して保管した。自由に切り抜いて良いコーナーである。

## 3. 実践の概要

### (1) 新聞掲示の活動（4年・始業前）

毎日配られる新聞を4年生の子どもたちが当番制でN I Eコーナーに展示した。（子どもたちの主体的な取り組み）

### (2) テーマ別ニュースの時間（4年・特別活動・総合）

自分の好きなジャンルの記事を集める  
新聞を選ぶ→見出しを読む→新聞の中身を読む→必要な部分を判別する→発表の仕方を考え合う→発表する（定期的な発表）  
（人に伝える手だてを考える）。

### (3) 毎日のニュースの時間（4年・帰りの会）

その日の新聞の中から、みんなに知らせたいと思った記事を、自分たちで考えた発表の仕方、楽しく伝える。

### (4) 新聞づくり（5年）（特別活動・社会科）

キャンプや社会科学習の体験やそれに関わる情報を整理し新聞という形で発信しようとした。  
見出しを考える→伝え方を考える→文章に表現する（読者を意識して）

### (5) 教科学習での活用（6年・社会科・理科・環境学習）

新聞記事を教師が提示し、それをもとに学習を深めていく。

### (6) 理科クイズでの活用（1～6年 全校児童対象）

理科専科による理科クイズに活用  
各紙で情報を探す（日にちを想起する）→集める→読む→考えながら書く（発信）→他の友だちの感想を見る（互いの発信の交換）

## 4. 具体的な実践

### (1) テーマ別ニュースの時間の実践（4年・国語）

#### ① 豊富な情報源として有効に活用していく子どもたち

Kさんは、夏休み中、自分の住む上田市についてもっといろいろ知りたいと、新聞の記事を集めてスクラップを作り始めた。

新聞の地方版だけでなく、幅広く記事を集め続けていた。

9月になり、Kさんが新聞記事を集めていることを知った子どもたちは、新聞記事の詳しさや多様さに驚き、自分たちもKさんのように、自分の興味あることについて書いてある記事を集めてみたいと考え始めていた。

個々で自分の興味のある記事を集め始めたが、なかなか思うように集められない。内容や記事の種類にもよるのだが、4年生にとっては一人で読んで見つけるということは、大変な活動のようだった。

Yさんは、料理の記事を集めたかったのに、一つも見つけられずに困っていた。そこへ、同じ料理の記事を調べようとしていたMさんがきて、一緒に探し始めた。

こうして、同じテーマの子どもたちは段々とグループを作っていくようになった。いつしか、テーマは絞られ動物、ロボット、星座、料理、スポーツ、芸能の各グループができていった。

グループができ、多くの目で記事を探し始めると、それだけ見つけやすく、難しい言葉も分担して辞典で調べる子どもたちの姿が見られるようになってきた。

さらに、他のグループのテーマが全体の場に見えてきていたので、ほかのグループがどんな記事を集めようとしているのかわかり始めた。

自分たちが探しているとき、偶然見つけたほかのグループの記事を切り抜いては交換していた。また、Yさんは、自分の料理の記事集めに一生懸命だったが、同時に、他のグループの記事もいつも気にして新聞を見るようになっていた。もちろん家の人と一緒にみていたようだ。そして、毎朝たくさん新聞記事を切ってきては、いろいろなグループに配っていた。自分のことだけでなく互いのことを気にしていくという支え合いの気持ちまで育ててきたのである。

こうして、子どもたちは、記事を探して新聞を隅々まで見るという習慣を身につけていったが、しばらくすると、「この記事は、〇〇新聞の火曜日の25面にあるね。」と、いつ、どの新聞の何面に、どんな記事がのってくるのかおおよそわかるようになっていた。

## ②「ニュースの時間」での発表に向けて、発信準備を工夫する子どもたち

### 料理グループ

発表の台本を考える	スクラップを元にした発表を計画する
発表の練習をする	言葉だけではわかりにくいところ、写真だけではイメージが伝わりにくい場面があること気づく
アップルパイを実際につくってみて、その様子を写真に撮って発表しよう	
実際に料理を作る	新聞記事を丁寧に読みイメージをもととする。 レシピ通りに作ることが難しいことがわかる 使ったことのない道具があることに気づく どのくらい混ぜたらよいのかわからないことに気づく

もう一度、詳しく調べてみよう

さらに具体的な情報を集める

もう一度新聞記事を丁寧に読む  
お母さんたちから情報を集める  
図書館で調べる  
インターネットで調べる

発表する

写真・道具・混ぜ方などの実演を交えた具体的な発表  
苦労談などの感想を交えての発表  
(発表に対しての「すごいなー！」という友だちの感想に、満足そうな笑顔)

### 獅子座流星群グループ

獅子座流星群の記事をニュースにしたい

みんなの興味を引くにはどうしたらよいか考えた

テレビのニュース番組を毎日見て研究した  
始まるときに音楽を流すことにした  
ニュースのオープニングテーマを録音して用意した

ぼくたちも獅子座流星群を見よう

夜中に目覚ましをセットして、見ようとしたが、起きられなくて見るができなかった。

ニュースの台本を作る

失敗したこともニュースの台本に入れた  
「獅子座流星群を見るのには努力がいる。」というタイトルをつけた。

各社の写真を全て集めた  
「これじゃみんなにわかんないな、こっちの方が良いな。」と一番写りの良かった写真を用意した。  
発表のために、写真だけを使った。(視覚的情報源)  
言葉はすべて自分たちの言葉で表現した。  
自分たちの知らないことが書いてある記事を一生懸命さがした。(新たな知識の獲得のための情報源)

記事を集め始めたころは、読んで理解することが誠一杯でそれ以上の調査をするとい

う姿はほとんど見られなかったが、活動が継続していく中で、もっとみんなにうまく伝えるためにどうしたらよいか考えるようになっていった。

発信したい内容がはっきりしてきて、発信したい相手が明確になってきて、こうしたという表現への願いがふくらんでいったようである。

さらに、実際に自分で試してみることで、新聞には載っていない難しさや大変さを体験できた。この経験もクラスみんなに伝えたいことの一つになっていった。

情報と、体験とが一つになって発信されていくきっかけになる新聞活用の学習となったが、自分たちの知らない新たな知識がもっとほしいと、詳しい記事を必死で見つけていた獅子座流星群グループの子どもたちにとって新聞は非常に貴重なアイテムになっていたことがわかった。

## (2) 毎日のニュースの時間の実践

### ① すばやくて多様な情報源として楽しく活用していく子どもたち

休み明けの月曜日、「昨日のマラソン見た？」と話し合っている子どもたち。新聞の切り抜きを持ってきて世界新記録を出した高橋尚子選手の様子を子どもたちに話した。

「そうそう、ぼくもみたよ。」「すごいね」ぼくも新聞切り抜いておこうかなという子もいた。

K夫は、「その日の新聞を使って、帰りの会に、ニュースをやったらおもしろそうだね。」といった。

毎朝当番の子が、自分の好きな記事を選び、自分たちで読んで、ちょうど国語で学習した国語辞典を使いながら、難しい言葉を調べたりして、どんな発表をするか考え、帰りの会に発表することになった。

Nくんは普段は写真を見て「これスゲー」と言うだけで終わってしまっていたが、自分がつけた大好きなAIBOの記事を帰りまでにみんなに紹介しようと、漢字辞典を片手に難しい語句を一心に調べながら読み進めていた。

「へー、こんなことが書いてあったんだー。」と満足そうな表情も浮かべていた。

漢字辞典を使い、自分の興味、関心にあった記事を読解できたことは、非常にうれしかったようだ。

今年度から地域イントラネット事業で各教室でもインターネットができるようになった。その日の新聞の記事をさらにインターネットで調べた子どももいた。

子ども用の日本語漢字辞典ソフトで難しい漢字を調べ、自分たちの発表の準備をしていく子どもたちだった。

新聞はインターネットよりも 多くの人に 色々な情報が目に触れやすいように工夫されていることが子どもたちにも体感できたようである。

新聞には、様々なジャンルにわたる沢山の新しい情報が毎日必ずあり、どの子の願いにも添うことができる。すべての子どもたちの欲求を満たすことに繋がっているようである。

### ② 工夫しながらその子らしい発信をする子どもたち

「アフガニスタンで野良犬が増えているんだって。」「どうしてなの？」その日の朝刊に

掲載されたばかりのアフガニスタンのカブールの記事。

カブール市内にいる推定7000匹の野良犬対策が始まったという記事を二人の女の子が短い会話形式に仕立てて紹介した。

新聞記事をただ読み上げるのではなく、自分たちなりの工夫を加え台本を作って発表するという、自分らしさを出せるような発表を志向してきた。

ある子は常に「田中真紀子」氏を登場させようとしていた。

聞く子どもたちも、どこに田中真紀子が登場するのかいつも楽しみに聞くようになっていた。その子のオリジナリティが生かせる場である。

楽しく発表し、期待感を持って友だちの発表を聞く事ができる場となっていた。

## 今後の課題

Kさんは「総合学習で飼ってきた鳥を食べるか否か」という記事を興味を持って読んでいた。周りの友達に「かわいそうだよねー。私は食べたくない。」と話していた。それをきっかけにその周りに沢山の友達が集まってきて、ちょっとした話し合いが始まっていた。

「僕は食べても良いと思う。」とか「だって学校のウサギを食べちゃうのと同じなんだよ」という意見も聞かれた。

Kさんは、子ども向けに書かれた記事を切り抜いてきたのである。とてもわかりやすく書かれているので、読みやすく読解も容易だった。

だからKさんもこの記事の内容が理解でき、興味を持ったし、集まってきた子どもたちもその場で読んで話し合いが成立したのである。

この出来事も一般紙では2週間も前に書かれていた記事なのだが、それに気付いた子どもは一人もいなかった。

4年生では、読みやすい小学生用の記事を導入として扱えるようにしていくと良いだろう。

今年度4年生が中心に実践した「ニュースの時間」のような毎日気軽に活用する実践を全校で試みていきたい。

また、低学年でも新聞を使えるような企画を工夫してみたい。

各教科の授業では、新聞の身近な記事を事象提示や中心教材として扱ったり、新聞「それ自体」を活用する学習を試みたいと考えている。

さらに新聞づくりを通して、新聞にかかわって働く人々の学習「新聞記者の方に話を聞く」などの学習も取り入れ、記事をより自分らしい言葉で書いて発信できるような力を育てていきたいと思う。

## 資料 1



高学年昇降口のNIEコーナー



理科室のNIE切り抜きコーナー



テーマ別グループで新聞を読む



テーマ別グループで発表 プロジェクター活用



傳いの会での発表・真紀子さんが好き!!



理科クイズで新聞活用

## いかクイズ オリンピックとくしゅう

きみの家の新聞から、すきな オリンピックの<sup>しやしん</sup>写真や<sup>きじ</sup>記事をきりぬいてはってください。かんそうをかいてください。

### わたしの すきなのは これ！！

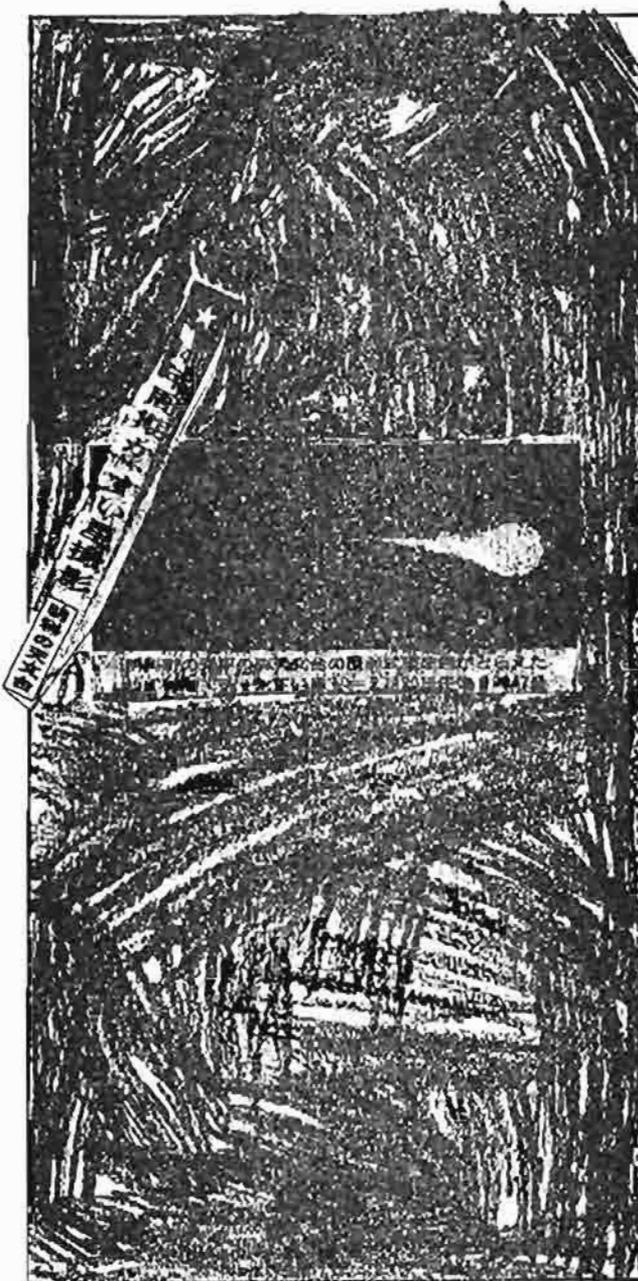
1年2組 なまえなとりわけみ



ニキ水せんしゅが、かん  
ノ月がていてすごか  
つに♡こつろじこに  
あったのに、かんは  
ってれんしゅら  
していてすごかった  
いせかいしうで  
こいいたった  
からすごかん  
ばったこんた  
なぬぬとわ  
もいまし  
たこ

# 341年周期か水星撮影

2年3組 名前 横関麻里



水星は341年周期のち  
うりつてんひつのもりてんもん  
台が二月一日しゅおか県の  
マツタテ天文台、池谷かある  
さんりによて発見され  
ばかりの「イクアホンお星  
のさつえいにていんこれ  
た、今月下旬には小かたの  
ほりえんきふでもかんそく  
できる明るさになりてんといけ  
国立天文台によるとこのす  
い星は1661年二月にポー  
ランドの天文学者が発見した  
との記ろくかぬるすい  
星と同一のかのせいけ  
高いといけ。同一とかんに  
んされればこれまでで  
ちともちのしりきりしり  
さすい星となり341年ふり  
のさいせう人になる。

3月2日の新聞

